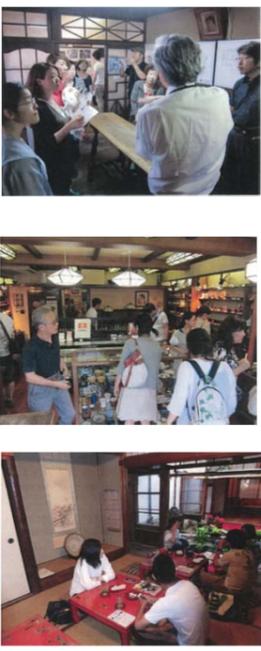


鳥取市市民まちづくり提案事業【協働事業部門(行政提案型事業)】 事業実績

No	団体名	事業概要	効果	事業の様子	市助成金(円)	評価(行政)
	事業名				事業費(円)	
1	鳥取民藝エリア活性化プロジェクト	<p>■目的と効果 中心市街地において文化的な価値がありながら十分に認知されていない旧吉田医院等の建物を市民に広く知ってもらいイベントを開催し、潜在しているまちなかの魅力を発信する。 吉田璋也が関わった旧吉田医院や鳥取民藝美術館等の建築物や民藝運動についてその魅力を伝えることで、今後のエリア活性化や建物活用に向けて市民の認識を高める。 中心市街地の複数の場所を活用してイベントを開催することで、まちなかを歩いて回遊し滞在して楽しむ機会を創出する。</p> <p>■内容 開催日:平成26年7月26日(土)~7月27日(日) 開催場所:旧吉田医院、鳥取民藝美術館、こどもや 事業概要 「旧吉田医院」をはじめ、吉田璋也に関連のある3つの建築物を活用して、「吉田璋也の民藝運動」をキーワードにして中心市街地の文化的・歴史的な魅力を知ってもらいイベントを開催。 ①「旧吉田医院」建物特別公開 ②「鳥取民藝美術館」特別無料入館日 ③カフェ民藝の木(旧とめや旅館)</p> <p>■参加者数 中心市街地への来街者1,312名 (内訳)旧吉田医院 670名 鳥取民藝美術館 546名 こどもや 96名</p>	<p>■協働による効果 鳥取市中心市街地整備課との協働により、市ホームページへの掲載やまちなか情報ラックへのチラシ配架、市政記者室への情報提供を行っていただき、より多くの市民やマスコミに情報発信を行うことができ、テレビ等でも取り上げられ、来場者数は予定を大きく上回り1,300名以上となった。 新鳥取駅前地区商店街との協働により、駅前太平洋線バード・ハット1周年記念イベントとの広報協力ができ、当日は集客の相乗効果が図られた。また、駅前商店街組合員等の周辺店舗と連携ができ、主催イベントに加えて、民藝に関する展示会や商品の取り扱い情報をチラシに掲載して、来場者エリアをゆっくりあるいて楽しんでいただけるイベントとなった。</p> <p>■課題に対する成果 鳥取民藝エリアに存在する吉田璋也の関わりのある3つの建築物という地域資源を活用してイベントを行ったことで、多くの市民や観光客に実際に建物に入って見て体験していただき、建築物の文化的な価値や民藝運動の歴史を認識していただくことができ、中心市街地の新たな文化的魅力の創出につながった。 今回のイベントにより、1,300名を超える非常に多くの方が中心市街地に来街し、大きな賑わいを生むことができた。また、複数の会場でイベントを開催したことに加え、商店街店舗等とも連携し、民藝をテーマにエリアでの回遊が図られた。 本事業を通じて、民藝に関する活動者、建物に関わる方、大学、事業者等のネットワークを強くすることができた。このたびの旧医院の特別公開がたいへん好評であったことを受けて、新たに旧吉田医院や璋也を題材にした展示会の企画が進んでいる。今後も、旧吉田医院の保存活用という大きな課題に向け、機運や市民意識を高めていくため、こういった具体的な活動を継続していく。</p>		400,000	<p>担当課:都市整備部中心市街地整備課</p> <p>複数の会場でイベントを開催したことに加え、沿線の商店街イベントと同日開催したことにより、まちなかの賑わい創出と回遊性の向上を図ることができた。 鳥取民藝に関わりのある建築物を活用したことで、その建築物の文化的価値や民藝運動の歴史を認識していただくことができ、中心市街地の新たな文化的魅力の創出につながった。 本事業を通じて、民藝に関する活動者、建物に関わる方、大学、事業者等のネットワーク強化につながった。</p>
	鳥取民藝エリア活性化イベント事業				454,603	
2	まちづくり・いきいき成器の会	<p>■目的と効果 平成26年4月、殿ダム周辺4広場が完成し、地域活性化を生み出す新たな地域の核として期待が寄せられている。そこで4広場のうち「記念広場」を会場に、ダム建設構想から完成まで半世紀に及び先人の御苦労、水没集落や移転した方々への感謝の思いを込めた音楽祭の実施を企画した。 主に国府町内で活動しているアマチュア団体を中心に演奏していただくことで、先人に対する感謝の心と住民の地域への愛着が高まるのと合わせ、野外での音楽祭ということで、大自然と音楽との調和という殿ダム周辺の新たな魅力を市内外に発信できるものとする。 山陰海岸ジオパークの一角である扇ノ山エリアは、およそ1700万年前には海の底だったことを伝える上地(わじ)地区の泥岩層をはじめ、史跡橋本廃寺跡や棚田など見どころは多い。しかし「雨滝」以外は、一般の知名度は極めて薄いの現状である。 そこで、記念広場内にある「殿ダム交流館」に、扇ノ山エリアのジオスポットを紹介するパネルや写真(映像)、化石等を常設展示するコーナーを新設することにした。ジオサイトを軸にした同エリアの魅力と周遊ルートを提案することで、「雨滝観光」の広域化と歴史や文化的な要素が高まることが期待できる。 国府町には「いなば国府」と「扇の里グループ」という2つの観光ガイドクラブがあり、「殿ダム交流館」と両団体との連携を深めることで、市内外の多くの方が扇ノ山エリアに注目することになると考える。</p> <p>■内容 ①第1回響け! 殿ダム「野外音楽祭」 開催日:平成26年9月21日(日)12時15分から16時45分 事業概要 出演団体 国府町内7団体、国府町外9団体 スーパーカーショー 飲食ブース ②山陰海岸ジオパーク「扇ノ山エリアのパネル展」(常設) 開催日:平成26年7月23日から 事業概要 ジオスポット紹介写真、資料</p> <p>■参加者数 ①3,500名 ②延べ8,100名(注:「記念広場」来場者数)</p>	<p>■協働による効果 「野外音楽祭」に関しては、事業PRが最大のポイントであった。市報や支所便り、有線放送を使った告知等で各段に周知が図れた。</p> <p>■課題に対する成果 ・野外音楽祭 目標来場者1,000名をはるかに上回る、およそ3,500名が来場し、殿ダム記念広場の認知度UPを図ることができた。イベント実施前後を比較すると来場者が増加しており、殿ダム周辺への流れを生む効果をもたらしたと考えられる。 高齢化が進む中山間地域で大規模な集客が可能であると実証でき、手応えと自信を得られた。国府町5地区が共催で企画運営した事業は過去に例がなく、連携・結びつきを強める効果を生んだ。 スーパーカーショーに参加した団体の反応も上々で、新たな絆を構築することができた。 今回限りの事業ではなく、来年度以降も実施可能な土台ができた。近い将来「野外音楽祭といえは殿ダム」と言われるよう成長させたい。 ・パネル展 同広場を訪れた人が気軽に立ち寄れる「交流館」に常設パネル展を設置したことで、ジオパークの一角であることを印象づけることができた。 ジオスポットの紹介は、新たな周遊ルートの構築へとつながり、当エリアでの滞在時間が長くなることにより、まちの活性化が期待できる。</p>		400,000	<p>担当課:国府町総合支所地域振興課</p> <p>晴天にも恵まれた「殿ダム野外音楽祭」には、想定を遥かに上回る約3,500人もの来場者を迎え、殿ダム及び周辺広場を市民の憩いの広場として強く印象付けることができた。併せて、殿ダム交流館内において同時開催した「扇ノ山ジオエリアのパネル展」により、国府地域の自然環境の素晴らしさ・観光面の魅力を多くの来場者に広く周知することができた。 また、従来の地域の枠を超えた事業実施に向けた組織連携等により、地域力の向上が図られた。</p>
	第1回響け! 殿ダム「野外音楽祭」及び山陰海岸ジオパーク「扇ノ山エリアのパネル展」事業				490,009	
					800,000	